

公式記録

令和4年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

準決勝 【 45 】



(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日時	2022年11月3日(木) 11:05 キックオフ				会場	ユニバー記念競技場							
天候	晴れ	風	弱風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー		状態	良好	試合形式	80分 / 延長 20分 / PK戦有			
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	田村 孝次		記録	芝切 淳 / 後藤 大輔		観衆	1,565人			
主審	寺岡 大輔		副審1	大槻 隼人		副審2	江川 恭一		第4の審判員	鳥尾 広輔			
チーム名	三田学園高校					0	前半	0	後半	1	チーム名	報徳学園高校	
							延前		延後			kick off	
							PK戦		PK戦				

交代		シュート				選手名 (学年)		番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)		シュート				交代	
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.	
	分					白木 遊大 3年	12	GK	GK	1	長村 未都 3年							分	
	分					小川 蒼葉 3年	2	DF	DF	5	山崎 純平 3年							分	
	分			1		富江 立修 3年	4	DF	DF	3	牧 雄大 3年							分	
	分					八木 捷斗 2年	13	DF	DF	19	前山 康貴 2年							分	
	分					黒瀬 直弥 1年	14	DF	DF	2	前市岡 孝太 3年							分	
	48分				1	西田 昇英 3年	16	MF	MF	7	瀧田 隼人 3年			1				分	
	72分					山根 遊馬 3年	7	MF	MF	6	花野 周磨 3年							分	
	分					上山 悠仁 3年	8	MF	MF	20	中嵐 大和 1年	1						66分	
	54分					鬼武 哲也 3年	18	MF	MF	8	稲井 想真 3年	3	1					76分	
	分				4	宮内 泉太郎 3年	10	FW	MF	11	今西 悠貴 3年	1						55分	
	54分				1	阪倉 寛人 3年	17	FW	FW	9	坂元 一渚璃 3年	1	1*					分	
	分					神田 航汰 1年	23	GK	GK	21	北迫 大和 1年							分	
7	分					新井 生 3年	3	DF	DF	16	山本 大智 3年							分	
	分					中島 大地 3年	5	DF	DF	23	張 海人 2年							分	
16	分					清井 海尋 3年	6	MF	DF	29	細野 一志 3年							分	
18	分					宮島 幸大 3年	11	MF	MF	14	大久保 星七 3年							分	11
	分					井上 将樹 3年	25	MF	MF	15	森山 皓貴 3年							分	
	分					米田 陵汰 2年	27	MF	MF	30	阜山 和夢 1年							分	
17	分					加藤 拓人 3年	9	FW	FW	13	宮本 有登 3年							分	20
	分					姫田 琢斗 1年	30	FW	FW	22	前田 日向 2年							分	8

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					7			1	6	シュート	6	3			9	分				
分					6			4	2	GK	3	2			5	分				
分					6			4	2	CK	1	4			5	分				
分					5			2	3	直接FK	3	5			8	分				
分					0			0	0	間接FK	0	3			3	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

【警告事由】 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去

【退場事由】 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	【得点経過】 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS								
	45分	報徳	9	坂元	0-1	中央	⑦	→	⑧	→	相手GK	こぼれ球	⑨	S
	分				-									
	分				-									
	分				-									
	分				-									
	分				-									
	分				-									
	分				-									

戦評者 所属【 兵庫・淡路三原 】 氏名【 筒井・正徳 】

秋晴れのもと多くの観客が詰めかけ、キックオフを迎えた。三田1-4-4-2、報徳1-4-2-3-1で開始。立ち上がりは、両者ともにFWへロングボールを配球し、攻撃を仕掛ける。報徳は⑨坂元が個の優位性を発揮し、シュートチャンスを創出することに成功するも得点には至らない。対する三田はセットプレーを中心に報徳ゴールを脅かす。徐々に、報徳の背後への飛び出しに三田のDFラインが低くなり、中盤にスペースが生まれ始める。そのスペースを報徳⑧稲井が有効に活用し、両サイドの攻撃が活性化されるも、得点は生まれず前半が終了する。後半開始直後、報徳はロングボールを活用しながら相手陣地に侵入し、右サイドを崩しクロスのかぼれ球を⑨坂元が蹴り込み先制点を挙げる。三田は⑨加藤と⑩宮島を投入し、より長いボールを増やし、攻撃を仕掛ける。しかし、報徳はDFラインとボランチの選手がしっかりと危機管理を行い、三田につける隙を与えない。最後まで三田の攻撃を跳ね返し続け、試合終了となった。報徳は試合状況に応じて少しずつ選手の配置を変化させながら着実に試合をコントロールする試合巧者ぶりを見せた。決勝でもプリンスリーグの厳しい戦いの中で身につけた戦い方を存分に発揮してくれることを期待する。最後まで粘り強く相手ゴールを目指し続けた三田にも賛辞を贈る。

【備考】